

要約

■ 出来事

- ・ステーションに帰還した。
- ・ドリフトロックで発見した異世界の文字は Zan が、カストロベルの「呪われたピラミッド」を探検した際に発見した文字と類似していることが分かった。
- ・異世界を調査するためにカストロベルのカラバット Qabarat 大学に向かった。
- ・ソルスターニ Solstarni 博士が Zan の文献を管理していたが、誘拐されてウクラムにある「呪われたピラミッド」に連れて行かれてしまったようだ。
- ・PC 達はそれを追いかけた。

■ 次回の予定

- ・誘拐されたソルスターニ博士を追いかけて、Zan 言うところの「呪われたピラミッド」に向かう。

■ 新しい設定

- ・コープスフリート:もともとイオクスの軍船だったが、イオクスがパクトワールドの一員として海賊となった。イオクスとコープスフリートは正式には関係が無いが、はたして本当にそうなのかどうかは良く分からない。
- ・ドリフトロックで発見した文字は、ハルクイムザン Halkueem Zan による 300 年前に書いたテキスト (Zan が Ukulam ウクラムに行った時の手記) に残っている。この手記はカストロベルのカラバット Qabarat 大学に保管されている。
- ・Ukulam ウクラムは、現在一般人が立ち入り禁止区域になっている。
- ・異世界の文字を発見した場所は Zan 曰く「呪われたピラミッド」

ログ

■ 冒険者の帰還

PC 達はドリフトロックから、サンライズメイデンで意気揚々と帰還していた。

しかし、途中、見知らぬ宇宙船が襲ってきた。

この宇宙船はコープスフリートではないか、と推測された。

ぐだぐだの宇宙戦の中、「バトルテック時短ルール(ダメージ2倍)で良いんじゃない」の一言により、ダメージ2倍となった途端に、敵宇宙船の攻撃が突き刺さってしまった。

イオクスの「棺桶」が目的のようだったので、「棺桶」を放流して、そちらに目をそらそうとしたが、宇宙船は Int が高いので、当然サンライズメイデンへの攻撃を続けるのだった。

結局宇宙船は大破状態になり逃げ帰った。

棺桶を取られたので、こっそり開けたことがうやむやになったので、これはこれでラッキーと思った。

■ Zan の覚醒

ステーションに戻ると、PC 達は YouTuber のように有名人になっていた。マスコミあるいは群衆

をかき分けながら、
依頼主である Gevalarsk Nor(イオクスの大使) に会いに行き、状況を説明すると一応感謝されるものの、
「まあ、私個人の依頼には答えてくれなかったので、今後の取引は要検討かな」と適当に流されてしまう。

その後、キススク (Starfinder 協会の人) に会いに行き、Drift Rock の由来について説明した。
協会のデータベースを調査した結果、
・その文字はハルクイムザン Halkueem Zan による 300 年前に書いたテキスト (Zan が Ukulam ウクラムに行った時の手記) に残っている
・Zan のオリジナル手記はカストロベルにカラバット Qabarat という都市があり、その宇宙考古学、人類学の大学にある。
・協会はコネがあるので、ザンのノートを調べることで、Drift ロックの正体を知ることができるかもしれない。
・Zan の手記は民間的には有名だが、学術的にはあまり評価されていない。遺跡を破壊してしまうこともあった。

PC 達はカストロベルに向かった。

■最後の会見

カストロベルにつくと、ラシャンタのハロス Whaloss さん (宇宙考古学 PhD、前に Starfinder 協会の手伝いをした縁で協力してくれる) が大学に案内してくれた。

文化言語学長のムハリ (Muhali) 博士に会いに行こうとすると、ジャーナリストが沢山集まっており騒いでいた。

ジャーナリス「 Ailabiens21:2 が講義でした問題発言をしてそれについてお話を伺いたい」と叫んでいる。

Ailabiens21:2 は

- ・脳みそ空中浮遊種族
- ・合理的で倫理とかはあまり気にしない
- ・講義中にフォーミアンは、絶滅させるべきであるという発言をした
- ・かつてカストロベルでは、フォーミアンと戦争があったが、30 年前に休戦が結ばれた

PC 達がムハリ学長のオフィスに行くと、目的の文献を管理している担当者は Olmehya Solstarni (種族 : カシャサ) で、彼女が Ukulam の遺跡について興味を持っている、ということ聞かされる。

学長が PC 達に紹介しようと勤務表を調べたら、休暇が申請されており、2 日前から休みだった。

学長は「あれそんな話きいてないのに……」とその事実には驚いているようだった。

結局、学長はマスコミ対応で忙しいので、これ以上のことはできなく、PC 達はおとなしく待つ

ことに決めた。

その日の夜、スーセイは「足が四本いる人が苦しめられていて、その部屋が大爆発する」夢を見た。

不吉な予感を感じたPC達は、DMの誘導に従い、ムハリ先生のところにいった Ailabiens 先生問題の解決を引き受けた。

Ailabiens 先生に、謝罪するように説得するものの、それを聞き入れてくれない。結局、

- ・研究の凍結をとく
- ・DB へのアクセス
- ・テニユアトラックの審査上の経歴から消す

という条件を出されるが、それに対してムハリ学長は同意しない。

もろもろあって、結局ブラフで Ailabien 先生をだまして、謝らせることに成功する。

■新たな任務

ようやく事件を解決して、Solstarni 博士のオフィスにに行くと、そこは荒らされていた。

調査すると、

- ・Ukulam (中立地帯) の Turhalu ターハムコール) 共同管理区域の発掘許可を貰っていた。
- ・Ukulam はフォーミアンとの戦争の関係で中立地帯になっており、学術目的でないと入ることが許可されていない。
- ・ドクターソルスターニは、2ヶ月後に発掘する予定だったが、その予定を早めていた。
- ・1週間前、ドクター Eyrub Paqual とソルスターニ博士でウクラムの古い遺跡を探索するという約束をしていた。
- ・2日前、カバラットの Five Arch という店でお話しませんか、と Eyrub Paqual からメールが来たが、それを断っている。
- ・オフィスには争った跡がある。フィールドスーツをとろうとしてとれなかった。
- ・監視カメラ(かいざんされているが、残っていたデータ)を調べると、夕方夜遅く、3人のラシャンタがバックパックを持ってやってくる。ラシャンタはポートオーソリティ(ワープゲートの管理)の制服を着ていた。
- ・この星は、交通手段としてワープゲートが使われており、惑星内の移動にはそのゲートを通してワープをすることができる。(確か)大昔はゴラリオンにもゲートがつながっており、最初の冒険はここに行くといいよ、と書かれていた(気がする)。
- ・ソルスターニは、Zan についても研究していた。Zan ノートのコピーを手に入れた。
- ・ドクター Eyrub Paqual は、エルフの遺跡についての論文を書いているが、調べると、架空の人物かもしれないと思った。
- ・Zan の本を調査すると、立ち入り禁止区域の古代の呪われたピラミッドであり、「こういう文字があった(前シナリオの文字と同じ)」という記述を発見した。

Five アーチを調査すると.....

- ・エキゾチックな数々な料理を出すカフェ。食べログ評価 1。
- ・ネオンサインで Five アーチ。
- ・色々な世界からもってきた食材を使ってる

- ・ドリンクを頼んでいる人が多い（ご飯が不味いので）

特に何も情報は得られなかった。

ワーブゲートを調査すると……

- ・監視カメラに映っていた制服はポートオソリティだけど、うちの従業員ではない。
- ・ソルスターニ先生は3日前にここを通っている。ソルスターニ先生を含む15人のチームがLabo Equipmentを持ってポータルからウクラムのタワハルポイントに行った。
- ・調査ビザを取っていた。

ということがわかった。

ムハリ学長から、タワハルポイント調査の許可を貰いソルスターニ博士の救出の依頼を受けた。
(報酬 Total 2500cr)

■クサリクの攻撃

ゲートを通り、ターハルポイントのステーションについた。
ここは草原であり、20ft 高さのキノコや、ヤルクという巨大生物が歩きながらあたりのものを破壊していた。

ベースキャンプの人に話を聞くと、

- ・ソルスターニ博士のパーティは北のほうに行き、山のほうに向かった。
- ・ソルスターニ博士は体調が悪そうで、ほとんど話をしなかった。
- ・Zan のノートには、北の山のほうに進む記述あり

ソルスターニ博士を追いかけて、高さ 3-8ft の高さの草原を進むと、多人数が進んだ足跡があった。しかし、ヤルクの近くを通って行く必要があり、二匹のヤルクに追いかけてしまった（チェイスルール）。
がんばって走って逃げる、橋をを通り、川を渡ったが、ヤルクは橋を壊して去って行った。

草原を進むと、オベリスクがあった。

さらに進むと、足跡は森に続いていた。森では変なさるの鳴き声が聞こえた。Zan のノートには「モンキーとバットとスコープオンの混ざり物」に襲われたという記述があった。その「さる」に襲われるが倒す。

そのあと、近くの食虫植物に誘われて、胞子により麻痺され、Nezumi が死にかけるとが頑張って倒す。

一夜あけると、後ろ後ろからクサリクが付いてくる。

- ・病気を与える生き物
- ・テentakulから相手の遺伝子情報を吸い取りそれを発現する。
- ・酸を履き、倒した相手の体に幼虫を産む。

射撃戦で倒そうとするが、倒せなかった。

仕方が無いので無視して進むと、木のしたに女の人が倒れていた。幼虫が巣くっており、「コロシテクレ」と呟いていた。

その時、クサリクが襲ってきたが、今回は出目が良く倒すことができた。
しかし、女の人には死に……幼虫を倒した。